

科目名称：	経営管理論	
担当者名：	西田 敬志	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>経営学とは、ヒト・モノ・カネ・情報をうまく活用し、企業が定めた目的を実現しようとする活動に関する学問です。この授業では、企業の活動はどのように決められ、どのように実行されるのか、その仕組みや社会との関係はどのようになっているのかについて学ぶことが主なテーマです。</p> <p>この授業を学ぶことで、就職活動の際の企業分析に役立ち、また、会社という組織がどのように動いているか、社会人としてどんな知識を持っていたら良いのかが、わかるようになることを目的とします。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①ビジネス社会で必要な経営に関する基礎的な知識を身に付けること</p> <p>②経営者の考え方を理解することで、就職活動の際の企業分析などが行えるようになること</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)	50	40		10	100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 税理士 * 税理士事務所	《経験年数1》 9年8か月 * 17年3か月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
経営に関する基礎的な知識	経営者と経営に関して対等に話すことができる	経営者の経営に関する話しを理解し、ある程度話すことができる	経営者の経営に関する話しを理解することができる	経営に関する話しを聞いても理解することができない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 経営管理論とは何か?	直近の新聞を読んでおく	15分
第2回 会社の様々な形態と、その仕組み	ミニテスト(経営管理論について)を解く	15分
第3回 経営戦略の体系と考え方	ミニテスト(会社の形態と仕組み)を解く 知っている会社の経営理念を調べる	15分
第4回 経営戦略を作る流れ	ミニテスト(経営戦略の体系)を解く	15分
第5回 経営戦略まとめ(授業内でディスカッションをしながら演習問題に取り組む)	ディスカッションテーマについて調べておく	15分
第6回 経営管理の基礎 小テスト	小テストに向け第2～4回のミニテストを復習する。	30分
第7回 経営管理の様々な考え方	ミニテスト(経営管理の基礎)を解く	15分
第8回 経営計画を作って管理しよう	ミニテスト(経営管理の考え方)を解く	15分
第9回 経営組織とは何か? 小テスト	小テストに向け第6～8回のミニテストを復習する。	30分
第10回 経営組織の基本形態	ミニテスト(経営組織について)を解く	15分
第11回 経営組織の制度・管理・文化	ミニテスト(経営組織について)を解く	15分
第12回 管理会計とは何か? 小テスト	小テストに向け第9～11回のミニテストを復習する。	30分
第13回 予算管理とマネジメントコントロール	ミニテスト(管理会計について)を解く	15分
第14回 経営戦略と管理会計	ミニテスト(管理会計について)を解く	15分
第15回 まとめ 小テスト	小テストに向け第12～14回のミニテストを復習する。	30分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(ミニテスト)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準 定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト10%×4回 ディスカッション10%		
課題に対するフィードバック 授業内の小テストは評価し返却する。定期試験は事務局を通して返却する。		
教科書・参考書 レジュメを配付する。		